

野 球 大 会 要 領

1. 出場チーム

- (1) 札幌市病院協議会加盟病院野球チーム、及び札幌医事務局チームとする。
- (2) 単独病院でチーム編成が不可能な場合に限り、複数病院で1チームを編成することが出来る。

2. 選 手

(1) 選手資格

加盟病院及び病院附属機関の従業員（職員、定期パート）とする。

ただし大会のための人事異動による者、アルバイト、不定期パート等は認めない。

※製薬メーカー等、病院以外の関係者も認めない。

(2) 選手登録

監督及びコーチを含めて1チーム30名以内とする。

令和7年4月1日現在で登録する。登録以後に人事異動のあったときは4月1日現在所属のチームの選手とする。人事異動のためチーム編成が不可能になったときには、新たに登録すれば欠員を補うことができる。

3. 試合規則 2025年公認野球規則による。

※2025年度より指名打者制（DH制）を採用する。

（大谷ルールを除いた通常の指名打者ルール）

4. 日 程 別紙（トーナメント表） ※予定

5. 使用球場 美香保A・B球場（東区北22条東4・5丁目）

6. 参 加 料 1チーム 25,000円

7. 試 合 球 全日本軟式野球連盟公認球M号

8. 試合方法 トーナメント戦

9. 試合回数・時間

7回戦、または、90分とする（80分以降は新たなイニングに入らない。ただし、表裏均等回とする）。

同得点で試合が終了したときは、タイブレイク方式を適用する。

決勝戦については7回戦とする。

（タイブレイク方式：継続打順とし、前回の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁の走者とする。
すなわち、0アウト・二塁の状態にして1イニングを行い、得点の多いチームを勝ちとする。
勝敗が決しない場合は、出場選手9人によるジャンケンとする。）

10. コールドゲーム

得点差によるコールドゲームは、4回終了以降7得点差とする。また、日没、降雨等のコールドゲームも4回終了後とする。ただし、決勝戦はコールドゲームを採用しない。

11. 試合開始時間 ① 8：45～ ②10：30～ ③12：15～
④14：00～ ⑤15：45～

12. 集合時間

各チームの選手は、試合開始時刻30分前までに集合すること。試合開始時間になっても、試合ができる状態にないチームは棄権とみなす。

13. ベンチ

組合せ番号の若いチームを一塁ベンチとする。

ベンチには、選手登録した選手（監督、コーチを含む）、およびスコアラー（1名）以外は入ることができない。

14. 審判団

札幌軟式野球連盟公認審判員より全試合の進行を行う。

15. その他確認事項

- (1) 試合のスピード化に協力すること。

攻守交代は駆け足でスピーディーに行うこと。

- (2) ユニホーム、アンダーシャツ、帽子、ストッキングは統一されたものを使用する。

安全のため打者、次打者、走者及びベースコーチはヘルメットを装着しなければならない。

また、捕手は、マスク、プロテクター、レガース、ヘルメット及びファウルカップを着用すること。

- (3) 試合終了後、勝利チームはグラウンド整備を行なうこと。

- (4) 試合終了後は、必ず、ゴミを各自持ち帰ること。

- (5) 試合当日棄権したチームは、その日が雨天で試合日程が変更になり、後日出場が可能となっても出場は認めない。

- (6) 当該試合の勝利チームは、後日その結果を札幌市病院協議会事務局へ連絡すること。

連絡先：札幌市病院協議会 事務局

野原

T E L 611-4181

F A X 643-1511

E-mail info@sapporo-byoinkyo.jp

■指名打者の取り扱いについて

(1) 指名打者ルールは、次のとおりである。

- ① チームは、投手に代わって打つ打者(指名打者)を指名することができる。
- ② 試合開始前に交換された打順表に記載された指名打者は、相手チームの先発投手に対して少なくとも1度は、打撃を完了しなければ交代できない。ただし、その先発投手が交代したときは、その必要はない。
- ③ チームは必ずしも指名打者を指名しなくてもよいが、試合前に指名しなかったときは、その試合で指名打者を使うことはできない。
- ④ 指名打者に代えて代打者を使ってもよい。その代打者は以後指名打者となる。退いた指名打者は、再び試合に出場できない。
- ⑤ 指名打者が守備についてもよいが、自分の番のところで打撃を続けなければならない。投手は退いた守備者の打撃順を受け継ぐ。ただし、2人以上の交代が行なわれたときは、監督が打撃順を指名しなければならない。
- ⑥ 指名打者に代えて代走者を使ってもよい。その代走者は以後指名打者となる。指名打者が代走者になることはできない。ただし、臨時代走者になることはできる。
- ⑦ 指名打者は、打順表の中でその番が固定されており、多様な交代によって打撃の順番を変えることはできない。

(2) 指名打者の役割が消滅する場合は、次のとおりである。

- ① 投手が他の守備位置についた場合。
- ② 代打者または代走者が試合に出場し、そのまま投手となった場合。
- ③ 投手が指名打者の代打者または代走者になった場合。
- ④ 打順表に10人のプレーヤーを記載したが、指名打者が特定されておらず、試合開始後にその誤りが球審に指摘され、投手が打撃順に入った場合は、投手が置きかわったプレーヤーは交代したとみなされ、試合から除き、それ以後指名打者の役割は消滅する。
- ⑤ 指名打者が守備位置についた場合。
- ⑥ 他の守備位置についていたプレーヤーが投手になった場合。